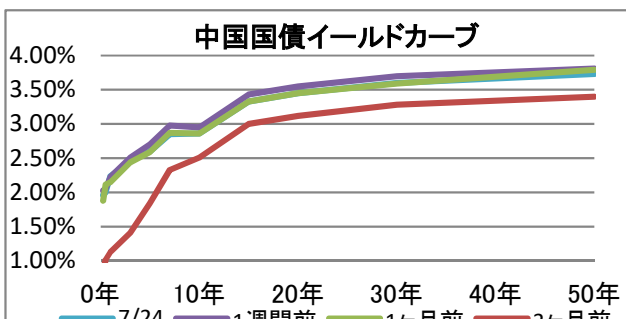
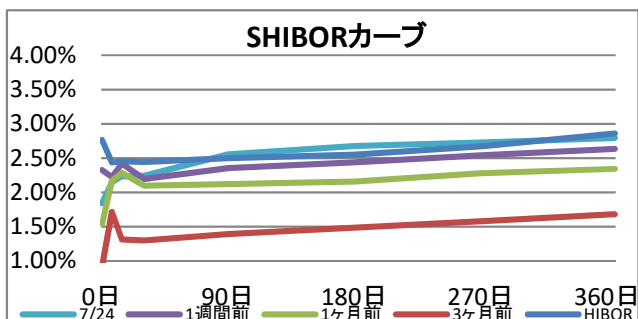


## ①市場概況

| 基準レート  |         | 2020/7/24 | (前週末比)   |
|--------|---------|-----------|----------|
| 人民元基準値 | USD/CNY | 6.9938    | -0.0105  |
|        | JPY/CNY | 6.5464    | 0.0201   |
| SHIBOR | 3M      | 2.5570%   | +0.2010% |
| 国債利回り  | 10年     | 2.86%     | -0.09%   |
| 上海総合指数 |         | 3,196.77  | -17.36   |



### (1) 概況

中国では、前週末から保険会社による株式保有上限引き上げ方針や債券市場（銀行間市場と取引所市場）の一体取引対応による資本市場整備を公表して市場ムードの改善が図られたものの、世界的な新型コロナウイルス感染拡大に加えて米中対立の激化により、株式市場は続落となり、国債利回りも低下を続け、外為市場ではドル人民元が6.96台から7.02台まで上昇（人民元は下落）することとなった。

米中間の対立は、週初にウイグル自治区の人権侵害問題に対する米国の制裁措置に始まり、米国がヒューストン中国総領事館国に閉鎖命令を、中国が成都米国総領事館の閉鎖命令をそれぞれ出し、南シナ海で両国が軍事演習を繰り返す状況となっており、対立関係の激化に拍車がかかっている。

### (2) 金融調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日3,300億元とMLF期日2,000億元に対し、MLFは前週に前倒し実行されていることもあって新規のリバースオペを合計1,600億元と国庫現金銀行定期500億元を実施し、3,200億元を吸収している（除くTMLF）。また、LPRは3ヶ月連続での据え置かれている。

### (3) 主な経済指標

特になし。

## ②資金市場

### (1) 人民元資金市場

|     | SHIBOR  | 無担保資金   | レポ      | NCD AAA |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| ON  | 1.8430% | 1.5000% | 1.8000% |         |
| 1W  | 2.1470% | 2.2000% | 1.9900% | 1.8000% |
| 2W  | 2.2340% | 2.2500% | 2.2300% | 2.2500% |
| 1M  | 2.2450% | 2.4000% | 3.3000% | 2.2700% |
| 3M  | 2.5570% | 3.6000% | 5.0000% | 2.5900% |
| 6M  | 2.6760% | 3.3000% | 2.8000% | 2.7500% |
| 9M  | 2.7270% |         |         | 2.8500% |
| 12M | 2.7960% | 3.4700% |         | 2.8000% |

中国人民銀行のややきつめの調節を続けていることから金融緩和期待は消失しているものの、短期市場の金利水準は資金需給の安定により急上昇する状況ではないが上昇を続けている。複雑化する金融経済財政状況に対する金融政策と市場調整の困難さは一段と強まっている。ターム物は1ヶ月の2.50%前後での出合いを除き極めて限定的。

NCDは、先週に続き金利上昇に歯止めがかかる中で比較的短期の運用姿勢が強まり、活発に取引されている。1ヶ月が2.25%前後、3ヶ月が2.58%前後、6ヶ月2.75%前後で取引されている。

### (2) 米ドル資金（本土内）

|     | BID   | OFFER |
|-----|-------|-------|
| ON  | 0.06% | 0.07% |
| 1W  | 0.10% | 0.12% |
| 1M  | 0.20% | 0.25% |
| 3M  | 0.45% | 0.50% |
| 6M  | 0.60% | 0.65% |
| 12M | 1.10% | 1.15% |

需給は引き続き安定し、金利水準も低位で安定している。ターム物は、1ヶ月が0.20%-0.22%で取引されている他は3ヶ月が0.45%前後、6ヶ月0.60%に調達希望が見られるものの出合いは限定的。

### ③人民元債券市場

|     | 国債    | 地方債AAA | 金融債AAA | 社債AAA | 社債AA  |
|-----|-------|--------|--------|-------|-------|
| 3M  | 1.96% | 2.00%  | 2.60%  | 2.62% | 3.05% |
| 6M  | 2.00% | 2.16%  | 2.70%  | 2.71% | 3.16% |
| 1Y  | 2.24% | 2.28%  | 2.83%  | 2.85% | 3.31% |
| 3Y  | 2.46% | 2.65%  | 3.11%  | 3.43% | 3.97% |
| 5Y  | 2.60% | 3.03%  | 3.52%  | 3.75% | 4.41% |
| 10Y | 2.86% | 3.33%  | 3.81%  | 4.08% | 4.85% |

債券市場では、米中対立激化による株式市場の下落を受けて買戻しが続いており、10年国債利回りも3.0%を下回り、調整が遅れていた信用債が中期ゾーンを中心に買い戻されている。

イールドカーブは、利率債は長めの期間の買戻しが進んでフラットニングする一方、信用債は中期ゾーンが大きく買い戻されていることからスティーピングしている。これにより、クレジットスプレッドは中期ゾーンまでが縮小に転じる一方で、長期はほぼ前週並みの水準のままとなっている。

### ④先物為替市場

|     | USD / CNY       |
|-----|-----------------|
| 1W  | 39.0 / 40.0     |
| 1M  | 139.5 / 141.0   |
| 3M  | 367.0 / 376.0   |
| 6M  | 695.0 / 702.0   |
| 9M  | 992.0 / 1003.0  |
| 12M | 1290.0 / 1295.0 |

対ドル基準レートは6.9938と前週末比-105pipsのドル安元高、対円基準レートは6.5464と同+201pipsの円高元安と世界的なドル安を映じて7.0を下回る水準での設定が続いた。国内市場でも、週前半はドル安の動きが強まっていたものの米中対立激化により中国株式市場の上値も重く、6.96台まで人民元が買われた後に米中対立の激化を嫌気して7.02台まで戻す7.0を挟んだ行ってこいの値動きとなった。

先物は、ドル金利が引き続き低位で安定する一方、人民元短期金利はじりじりと上昇を続けていることから拡大傾向を維持しているものの、人民元投資資金ニーズが高まる状況ではないこともあって、スワップ幅は急拡大することなく小幅な拡大に止まっている。

### ⑤金利スワップ

|     | Quarterly<br>7d Repo<br>A/365 | Quarterly<br>3M SHIBOR<br>A/365 A/360 | Annually<br>O-N SHIBOR<br>A/365 A/360 |
|-----|-------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 3M  | 2.25%                         |                                       | 1.92%                                 |
| 6M  | 2.27%                         | 2.58%                                 | 1.92%                                 |
| 9M  | 2.28%                         | 2.59%                                 | 1.93%                                 |
| 1Y  | 2.29%                         | 2.60%                                 | 1.94%                                 |
| 3Y  | 2.44%                         | 2.87%                                 | 1.95%                                 |
| 5Y  | 2.59%                         | 3.09%                                 |                                       |
| 7Y  | 2.74%                         | 3.28%                                 |                                       |
| 10Y | 2.93%                         | 3.52%                                 |                                       |

短期の基準金利が漸く低下に転じ、国債利回りも低下を続けたことから、スワップ金利も低下を続けている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは、スワップ金利、債券利回りともに低下する中で小幅ながら縮小に転じている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。